

# 目次

## ● Contents ●

I. はじめに	3
II. 卒後ワークライフバランスについて考える会 2014 in Spring	5
1. 開催概要	6
2. 次第	7
3. 開催内容	8
第1部 講演会	8
開会挨拶	8
講演会	8
第2部 懇談会	22
挨拶	22
グループディスカッション	22
4. アンケート結果報告	23
5. 参加者名簿	29
III. 卒後ワークライフバランスについて考える会 2014 in Summer	31
1. 開催概要	32
2. 次第	32
3. 開催内容	33
開会挨拶	33
自治医大の1年間の活動報告	33
意見交換	33
4. 参加者名簿	44
IV. 卒後ワークライフバランスについて考える会 2014 in Autumn	45
1. 開催概要	46
2. 次第	47
3. 開催内容	48
第1部 講演会	48
開会挨拶	48
講演会	48
第2部 懇談会	53
挨拶	53
学生グループワーク	53
情報交換会	55
4. アンケート結果報告	56
5. 参加者名簿	58



## I はじめに

平成 26 年 4 月での本学医学部の女子学生数は 197 名に達し、全体の 3 割弱となっており、都道府県によっては在学生の約半数が女性というところもあり、他大学医学部における女子学生の割合が高まる例にもれず、本学でも医学部における女性の割合は高まっています。

卒後指導委員会では、女性が増えてきたことに伴い、結婚・出産・育児の負担が医師としての負担に上乗せされることも多いことから、仕事と家庭の両立が叶うよう勤務の継続に対する支援を平成 20 年度から実施してきました。

近年は女性医師支援の視点からワークライフバランスに考え方がシフトしている印象を受けます。仕事と生活について考えることは女性だけに限定されることでなく、男性医師も含めた検討が必要になってきました。

本学では、昨年からは時期やテーマを変えて春と秋の 2 回、卒後ワークライフバランスについて考える会を実施したほか、夏は全国から 13 期から 30 期までの女性卒業生に集まって頂きご意見を伺う機会を設けました。今年度の秋の会からは男子学生の参加も募り、6 名に出席いただきました。

時期、テーマの異なるワークライフバランスの会を年に 3 回実施するようになって今年度で 2 年目となりますが、それぞれの会で多くの卒業生から貴重な意見を伺っています。今後もいただいた意見をもとに、より良い女性医師支援についてはワークライフバランス支援ができるよう検討を継続していきたいと思えます。

この場をお借りして、お忙しい中参加いただいた卒業生に感謝申し上げます。また、1 年生から 6 年生の学生にも参加いただき、盛会に終わることができました。

ここに、卒後ワークライフバランスについて考える会 2014 の報告書を作成いたしましたので今後の参考としていただければ幸甚です。

卒後指導委員長

臨床検査医学 教授 谷口 信行



## Ⅱ. 卒後ワークライフバランスについて考える会 2014 in Spring

## 1. 開催概要

- 概要 「卒後ワークライフバランスについて考える会 2014 in Spring」  
第1部：卒業生による講演  
第2部：懇談会
- 目的 女子学生の増加に伴い、卒業後の義務年限の履行と結婚・出産・育児との両立が今後の課題となることが避けられない状況の下、女子学生に在学中からキャリアの面について卒後のワークライフバランスをイメージしてもらう機会を設けるとともに、より多くの女性卒業生と顔見知りになってもらう。
- 開催日 平成26年5月25日（日）
- 会場 第1部：医学教育研究棟1階大教室2  
第2部：医学教育研究棟1階休憩スペース
- 参加者 第1部：49名（卒業生10名、在学生24名、その他3名、関係者12名）  
第2部：42名（卒業生9名、在学生20名、その他1名、関係者12名）
- 主催 卒後指導委員会（地域医療推進課）
- 協力者 石川 鎮清（卒後指導委員会女性医師支援担当）  
牧野 伸子（卒後指導委員会女性医師支援担当）  
石川由紀子（卒後指導委員会女性医師支援担当）  
山本さやか（卒後指導委員会女性医師支援担当）  
井上 美砂（医学部5年生）  
佐野友字子（医学部5年生）  
仲摩 恵美（医学部5年生）

## 2. 次第

### 第1部・講演会

日 時：平成26年5月25日（日）10:00～11:05

場 所：医学部・教育研究棟1階 大教室2

テ ー マ：キャリア形成について

司会進行：熊倉盛男地域医療推進課参事

時間	内容	摘要
10:00	開会挨拶	谷口信行卒後指導委員長
10:05	講演① 「自治医大生のワークライフバランス」	西村倫子医師 大分県20期卒業 (財)がん研有明病院
10:30	講演② 「あなたは山登り派？それとも波乗り派？」	山本 祐医師 宮城県26期卒業 本院総合診療内科
10:55	質疑応答	

### 第2部・懇談会

日 時：平成26年5月25日（日）11:15～13:00

場 所：医学部・教育研究棟1階 休憩スペース

司会進行：石川鎮清卒後指導副部長（女性医師支援担当）

時間	内容	摘要
11:15	開会挨拶 女性医師支援担当教員紹介	針田 哲卒後指導部長
11:20	昼食 グループディスカッション	
12:50	アンケート記入	

### 3. 開催内容

#### 第1部 講演会

##### 開会挨拶

谷口 信行 卒後指導委員長  
(臨床検査医学 教授)

学生、卒業生の皆様、お忙しいところご参加いただきありがとうございます。

卒後指導委員会では、自治医大生が卒業した後に、地域医療を遂行できるようにサポートしています。その中のひとつとして重要なのがワークライフバランスであり、今後の大きな課題と考えています。この会は卒業生を迎えて在學生とお話ししていただける貴重な会です。これから卒業される皆さんは地域医療で不安なことがたくさんあるかと思います。さらに今後、結婚・出産・育児を経験することが予想されますが、将来についての心配事をこの機会に卒業生に相談していただき、少しでも不安が減れば幸甚に思います。



##### 講演会

講演① 西村倫子先生

「自治医大生のワークライフバランス」

講演② 山本 祐先生

「あなたは山登り派？それとも波乗り派？」



<参加した学生・卒業生のコメント（抜粋）>

- ・疑問に思っていたこと（結婚や出産のベストなタイミングなど）についてお話を聞けて良かったです。また、学生生活中に卒後のやるべきこと、雰囲気があった。
- ・一人の女性医師の具体的な留学経験を聞くことができたこと、また、海派・山派・キャリアアンカーなど、自分の経験を後押ししてくれる理論に出会えたこと、とても貴重な栃木への旅でした。また、機会があれば、参加させてください。

## in Spring 講演①



### 自治医大生のワークライフバランス

大分県 20期 西村(吉武) 倫子

### 目次

- ・自己紹介
- ・Clinical Question & Answer
  - 1、結婚はいつがベスト？
  - 2、子供は持つ？持たない？ 持つならいつがベスト？
  - 3、仕事と家庭(子育て)の両立は可能？
  - 4、基礎研究する？大学院に入った方がいい？
  - 5、留学した方がいい？
  - 6、バリキャリア？ ゆるキャリア？ 医局 vs 病院 vs クリニック(診療所)
- ・Take Home Message

2

### 自己紹介

- ・大分県 20期
- ・熊本県の同級生と結婚：大分県8年 + 熊本県2年義務内勤務
- ・後期研修：自治医科大学分子病態治療研究センター  
幹細胞制御部門 古川雄祐先生に師事
- ・義務年限明け後：がん研究会有明病院血液腫瘍科 勤務
- ・留学：University of California, Irvine校

・子供は2人(現在中学1年生・小学6年生 男の子)

3

### 私のWork History



4

### 今回のテーマは

## ・キャリアについて

5

### 自治医大時代の私は・・・

- ・入試にて・・・「結婚したらどうするんですか？」との質問に
- ・入学時・・・医者になりたいという強い希望はなく
- ・入学後に・・・普通の会社勤めの人に、夏休み春休み冬休みがないことを知り
- ・大学4～5年に・・・医者が当直明けに休みじゃないことを知り
- ・医師になって・・・土日ほとんど休みがないことを知る

あまり将来のことを考えていない、楽しい学生時代であった



6

### Clinical Question

- 1、結婚はいつがベスト？
- 2、子供は持つ？持たない？ 持つならいつがベスト？
- 3、仕事と家庭(子育て)の両立は可能？
- 4、基礎研究する？大学院に入った方がいい？
- 5、留学した方がいい？
- 6、バリキャリア？ ゆるキャリア？ 医局 vs 病院 vs クリニック(診療所)

7

### Clinical Question

- 1、結婚はいつがベスト？
- 2、子供は持つ？持たない？ 持つならいつがベスト？
- 3、仕事と家庭(子育て)の両立は可能？
- 4、基礎研究する？大学院に入った方がいい？
- 5、留学した方がいい？
- 6、バリキャリア？ ゆるキャリア？ 医局 vs 病院 vs クリニック(診療所)

8

## 卵を一つの籠に盛るな



9

## 卒業生のライフステージ



24歳 26歳 35歳

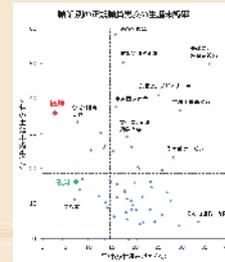
10

## 生涯未婚率は1980年以降上昇



11

## 医師の生涯未婚率は男女差が大きい



男性：2.8%  
女性：35.9%

注：論文ではないデータ

[http://matkazy.blogspot.jp/2011/10/blog-post\\_9.html](http://matkazy.blogspot.jp/2011/10/blog-post_9.html)

12

## なぜ生涯未婚率が上昇した？（特に女性）



結婚とは「カオ」と「カネ」の交換である。

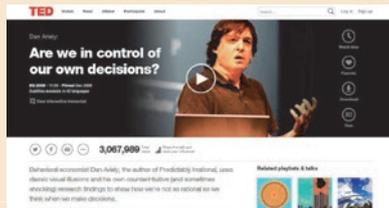
「結婚の条件」 小倉千賀子、朝日新聞社 2003

13



## Predictably Irrational, Dan Ariely

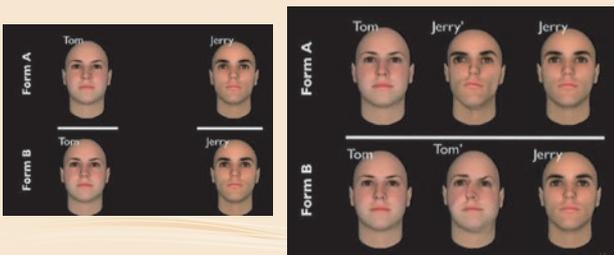
予想通りに不合理 行動経済学があかすあなたがそれを選ぶわけ



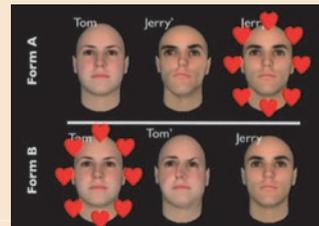
[http://www.ted.com/talks/dan\\_ariely\\_asks\\_are\\_we\\_in\\_control\\_of\\_our\\_own\\_decisions](http://www.ted.com/talks/dan_ariely_asks_are_we_in_control_of_our_own_decisions)

14

## 魅力的は異性はどちらか？



## 人間はほとんどの決定を“相対的”に判断している



あなたの決定は多分に恣意的。重要な決定をどんどん先送りにしないで。

15

## 医师生涯未婚率の男女差は何故開く？

- ・卒業したら24、5歳、研修・専門医試験をこなしていると、あっという間に30歳を超える
- ・病院は女性の職場、そもそも出会いに不均衡が！
- ・女性にも十分な収入→生活のための結婚はしない
- ・24時間戦えますか？が基本の職場

17

## 私の場合・・・



18

## 時代はバブル後半～崩壊

- ・“ウーマンリブ”の時代後、結婚して子供を持つ方がカッコいいようなイメージ
- ・結婚はするものだ、と思っていた

19

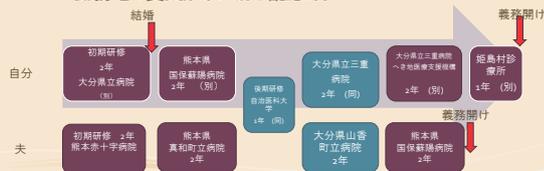
## 結婚相手の選択は？

- ・医師-医師  
仕事の理解が完璧→妻のストレスが減るという研究結果もある  
自治医同士でも、県を超えての配慮をしてくれる  
両方激務の可能性大。経済的には問題ないが。  
小学校ではPTA、保護者会など、親の出番は多い
- ・医師-医師以外  
仕事のサポートをしてくれる場合あり

20

## 結婚で変わったこと

- ・自治卒医どうしたかったので、義務年限については県庁を介して協議  
→勤務地の変更があったが、配慮あり



21

## Answer ① 結婚はいつがベスト？

- ・相手がいた時がベストです。→人それぞれ
- ・ただし、初期研修が終わって「地域貢献期」になるころには、若者（独身）が周囲に少なくなるころには、留意しましょう。



22

## Clinical Question

- 1、結婚はいつがベスト？
- 2、子供は持つ？持たない？ 持つならいつがベスト？
- 3、仕事と家庭(子育て)の両立は可能？
- 4、基礎研究する？大学院に入った方がいい？
- 5、留学した方がいい？
- 6、バリキャリ？ ゆるキャリ？ 医局 vs 病院 vs クリニック(診療所)

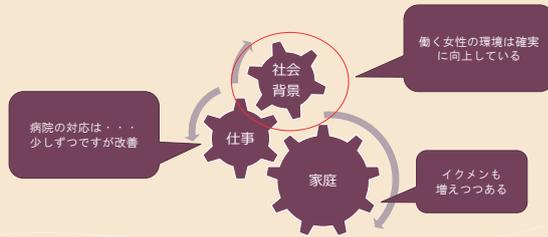
23

## 女性のライフスタイルは様々な因子の影響をうける



24

## 女性のライフスタイルは様々な因子の影響を受ける



25

## 環境改善

- 待機児童0作戦
- 育メンの台頭
- 病児保育所の整備 / 病児シッター
- 残業代・当直問題の改善（傾向）

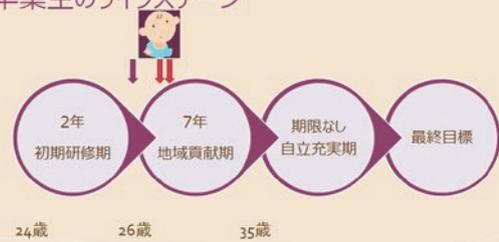
26

## 私の場合・・・



27

## 卒業生のライフステージ



28

## Answer ② 子供は持つ？持たない？ 持つならいつがベスト？

- ・そもそも、子供は授かりものなので、自分の意志だけではどうにもできないことがあると理解しましょう。
- ・子供をもつと、人生全てが変わると言っても過言ではありません。
- ・子供を持ったら、両立のための努力を覚悟しましょう。
- ・ベストな時期はない（コントロールは難しい）が、可能なら早い方がベター。

29

## Clinical Question

- 1、結婚はいつがベスト？
- 2、子供は持つ？持たない？ 持つならいつ？
- 3、仕事と家庭(子育て)の両立は可能？
- 4、基礎研究する？大学院に入った方がいい？
- 5、留学した方がいい？
- 6、バリキャリア？ ゆるキャリア？ 医局 vs 病院 vs クリニック（診療所）

Work life balance

30

## アンビバレントな苦悩



仕事と家庭は二項対立ではない

31

## 子供を持つことで変わったこと

- ・あらゆることが変わります。生活すべてに影響。かけがえのない命を得る代わりに手放さなければならないものもある。
- ・家庭：家事・育児負担の増大  
子供の病気（発熱）にどう対処？
- ・仕事：当直問題、主治医制問題

32

### 私の場合・・・



### 義務年限中は

- ・義務年限中の身分は「公務員」。産休や育休はむしろしっかり保障されている（産前6週、産後8週）。
- ・自分の県でも、夫の県でも、強い味方は「母親」だが、頼りすぎは厳禁。まずは自分と夫がしっかり子供の世話をする。
- ・診療所勤務は、逆に育児にプラス？

### 義務年限明けは？

- ・自分で選択できるので、両立できる職場を選ぶのは重要。
- ・保育園は働く母の味方。認可に入れなければ、無認可でもやむなし。
- ・ベビーシッター、病児保育も積極的に活用（お金に糸目はつかない）。
- ・食洗器、洗濯乾燥機、ルンバは積極活用。
- ・タイムマネジメント（クラウドを使ったスケジュール管理）

### 仕事はどうする？

- ・産休は法的に認められている。産前6週、産後8週。
- ・育休は、義務年限延長というマイナスと引き換え。第2子で取得。
- ・第1子出産後の勤務は、なんと小児科。
- ・当直は妊娠8か月まで、復帰後はすぐに再開。
- ・子育て中は「当直対応」は事前に決まっている日程なので、やりくりは可能。急な呼び出し対応が本当に大変。
- ・診療所では夜間呼び出し時は、熟睡している子を残して診療。

### 出産 日本/米国比較

	日本	米国
産休	給与100%保障 産前6～8週 産後8週	基本なし/無給 大手企業では保障がある所も (先進国で唯一法的有給産休 制度のない国)
育休	1年～3年 可 男女で交代に取ることも可	基本なし 育児介護休暇法により、最長12 週間の無給休暇の申請可
出産	産後約1週間入院	産後2-3日で退院
出産にかかる費用	健康保険で一定額戻る	医療保険により変わる カバーされないものも
税金/年金	児童手当（所得制限あり）	子育て、教育関連費は 全額Tax Returnあり

### 子育て 東京/地方/米国比較

	東京	地方	米国 (CA)
保育所の入りやすさ	3歳以下激戦	比較的入りやすい	人気のところはwaiting list
保育所の料金	0歳 29,000～80,000円 (所得税額により変動、第2子以降減額) 6歳 18,000～28,800円	自治体により様々	1000\$～/人 第2子以降割引は施設により 様々
病気の時の対応	病児保育/シッター充実	都市部には病児保育あり	仕事場の理解あり シッターは安め（時給10\$～）
病気になる費用	中学生以下無料が多い	未就学児無料が多い	医療保険により変わるが 一般的に高額
学童保育入りやすさ	ほぼ全員入れる	ほぼ全員入れる	ほぼ全員入れる
学童保育料金	1000円～2000円/人	1000円～2000円/人	500～2000\$ /人
登校	自分で登校	自分で登校	親が送迎
お留守番	可	可	10歳まで不可

### 小学生になったら大丈夫？

- ・小1の壁→学童保育、原則6時まで
- ・小4の壁→学童保育はなくなる
- ・中学受験、高校受験、大学受験、子供の反抗期

### 女性医師の産休取得状況



産休を取得しなかった割合として  
は、1割以下で保職・退職した人が  
45%を占める





### 子育てをしながら勤務を続ける条件



厚生労働省「労働力調査」アンケート調査 結果報告（追加） 平成22年

57

### Answer ③ 仕事と家庭の両立は可能？

- ・可能ですが、すべてを100%は無理。完璧主義は捨てること。
- ・それでも、多忙で自分の時間がない時期（「フ」が取れるまで）を覚悟しましょう。
- ・義務年以内は勤務地の選択の余地はないですが、親や地域の人の協力を得られることも多い。身分も保障されている。
- ・夫は最大の協力者。夫の家事に文句は言わないこと。
- ・そして、突然の休みに備えた周りへの気配りを忘れずに。

58

### Clinical Question

- 1、結婚はいつがベスト？
- 2、子供は持つ？持たない？ 持つならいつがベスト？
- 3、仕事と家庭の両立は可能？
- 4、基礎研究する？大学院に入った方がいい？
- 5、留学した方がいい？
- 6、バリキャリ？ ゆるキャリ？ 医局 vs 病院 vs クリニック（診療所）

59

### 私の場合・・・



60

### Answer ④ 基礎研究する？ 大学院に入った方がいい？

- ・もやもやした思いがあるなら、基礎研究へGo!
- ・臨床の考え方にも役立ちます。
- ・最初から基礎でなく、臨床研究に進む方向もあります。自治医大生には臨床研究を極める方がベクトルが同じ方向ですのでおすすめです。
- ・大学院は未体験なので分かりませんが、きちんと勉強したいなら行くことをお勧めします。

61

### Clinical Question

- 1、結婚はいつがベスト？
- 2、子供は持つ？持たない？ 持つならいつがベスト？
- 3、仕事と家庭の両立は可能？
- 4、基礎研究する？大学院に入った方がいい？
- 5、留学した方がいい？
- 6、バリキャリ？ ゆるキャリ？ 医局 vs 病院 vs クリニック（診療所）

62

### 留学 ～メリット～

するべきか？ 必要ないか？  
デメリットもある

順位	メリット	回答数	割合	グラフ
1	経済的にマイナス	51	44%	
2	日本に留學で済んでくれる	18	11%	
3	留学が面白くない	5	3%	
4	情報のとぎれ	5	3%	
5	なくはない	5	3%	
6	日本の制度がわからない	4	2%	
7	英語が話せない	4	2%	
8	奨学金でマイナス	3	2%	
9	奨学金が返さなくていい	3	2%	
10	人の手・足を洗ってパスポートがもらえる	2	1%	
11	日本人以上の医療者があつたらいい、わが国は特別に自慢できる	2	1%	
12	外科医としての技術が得られる	2	1%	
13	外国人が言葉が通じない、日本で生活が楽になる	1	0%	
14	外国人が言葉が通じない、日本で生活が楽になる	1	0%	

研究留学ネット <http://www.kenkyuu.net/>

### 留学 ～メリット～

異国に住む、というのは得難い体験  
視野を広げるまたとないチャンス  
日本の良さを再認識させてくれる

順位	メリット	回答数	割合	グラフ
1	異文化に触れられること	38	25%	
2	日本の常識・慣習以外で新しいこと	19	11%	
3	家族と遠くで生活が出来る	18	11%	
4	研究の最先端に触れること	13	8%	
5	「レベルアップ」が期待出来ること	12	8%	
6	多くの機会を得られること	10	7%	
7	知識を身につけること	9	6%	
8	英語が出来る	8	4%	
9	自己満足	4	2%	
10	海外で生活が出来ること	4	2%	
11	「I found a spouse」	1	0%	
12	海外で生活が出来ること	1	0%	
13	「I found a spouse」	1	0%	
14	「I found a spouse」	1	0%	

研究留学ネット <http://www.kenkyuu.net/>

私の場合・・・



65

## Doctor's Life 日本/米国比較

	日本	米国 (CA)
医学部入学年齢	高校卒業後 18歳	大学卒業後 22歳
医学部にかかる費用	国立と私立で大きく変わるが・・・	高い 学生は基本的にローンを利用 卒業時には大きな借金あり
基礎研究は	大学院で行うことが多い	PD/PhDコースの一部エリートコースのMD以外は臨床と基礎研究は分離していることが多い
レジデント、専門医	制度はあるが、特典は不明	レジデンシーを終えると、専門医取得し、給料は大幅にup 再度レジデントに戻ることはない

66

## Answer ⑤ 留学した方がいい？

- 行けるなら行った方がいい、と個人的に思います。タイミングを逃すと、行けなくなります。
- 自治医大生には、キャリアにプラスになるかどうか、は分かりませんが、異文化体験、英語環境、家族での大切な思い出、などなど、後悔することはないのでは？
- 留学にはまとまった額が必要です。自治医大生は医師のEarly stageで経済的に恵まれているので、留学には問題ありません。

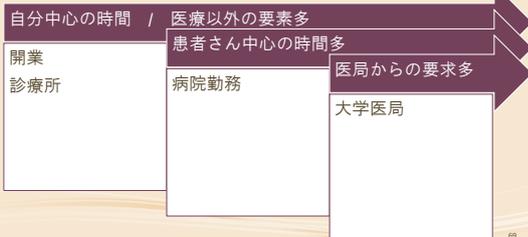
67

## Clinical Question

- 1、結婚はいつがベスト？
- 2、子供は持つ？持たない？ 持つならいつがベスト？
- 3、仕事と家庭の両立は可能？
- 4、基礎研究する？大学院に入った方がいい？
- 5、留学した方がいい？
- 6、バリキャリ？ ゆるキャリ？ 医局 vs 病院 vs クリニック（診療所）

68

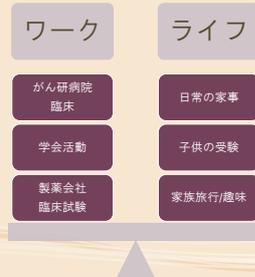
あなたの医者人生は、義務明け後の方が長い！



69

現在から未来へ

現在のワークライフバランス



70

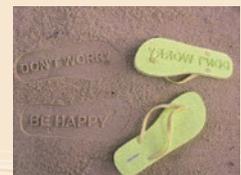
読売新聞  
医療ルネサンス



71

## Take Home Message

- 勉強はしっかりと。
  - 仕事は仕事、私生活は私生活。マルチタスクで同時進行！
  - 案ずるより産むが易し。
- Don't worry, be happy!



72

卒後ワークライフバランスについて考える会2014 in Spring

# あなたは山登り派？ それとも波乗り派？

自治医科大学地域医療学センター 総合診療部門  
自治医科大学附属病院 総合診療内科

山本 祐（宮城 26期）

2014. 05. 25

# 「キャリア」

2

# Question

3

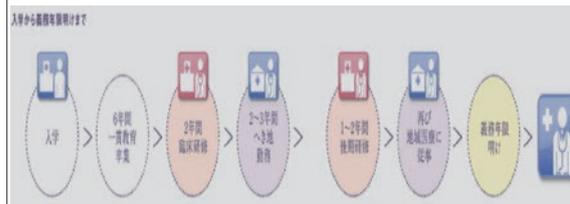


## 本日の内容

1. 卒前・卒後を振り返る  
- 学生時代から今にいたるまで
2. キャリアはどのようにして形成されるか  
- あなたは山登り派？波乗り派？
3. キャリア・アンカー  
- 譲れないものがそこにある
4. わたしの今  
- Take Home Messagesをそえて

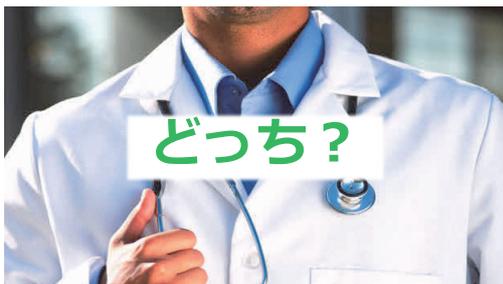
5

## 自治医大生の一般的キャリア



6

・ いろんな経験をするのが大事！



・ きちんと専門を決めてやるのが大事！

7

きちんと仕事をやっていけるんだろうか？

結婚は？ 子供は？

他の大学卒業生がどんどん先に行ってしまう  
後れを取るのではないかな？

8

## 本日の内容

1. 卒前・卒後をふり返る  
- 学生時代から今にいたるまで
2. キャリアはどのようにして形成されるか  
- あなたは山登り派？波乗り派？
3. キャリア・アンカー  
- 譲れないものがそこにある
4. わたしの今  
- Take Home Messagesをそえて

9

## Question

10



## 「山登り」の特徴

設定した目標に向かう過程を  
あらかじめ逆算して計画を立てる.

12

## 山登り = 静的キャリア論

- 設定した目標に向かう過程をあらかじめ逆算してキャリアをデザインする.
- 「目標を明確に描き、それを実現させる詳細な計画のもとに、行動や習慣を繰り返し、着実に行動し、理想を追求」していくタイプ.

### 【短所】

- 10年後、20年後の予測が難しく、刻々と変化する状況ではストレスを感じやすい.
- 思考や行動の柔軟性に欠ける.
- 満足の先延ばしや我慢に陥り、それが達成されるまでは全てがそのための準備で、目標が達成されなければ「失敗 = それまでの努力が水の泡」となりやすい.

13



## Conflict



## 「波乗り」の特徴

偶然に起きる不可避な事態を  
最大限に利用する.

16

## 波乗り = 動的キャリア論

- 人生は偶然の出来事や出会いによって決まっていることが実は多く、この不測の事態を回避するのではなく、回避できないものとして最大限に生かす。
- 「プロセスを細かく決めず、大きな方向性だけを定めて、人との出会いや機会、自分の直感をもとに臨機応変に行動し、理想を追求」していくタイプ。

### 【短所】

- 好奇心の赴くままにあれこれ手を出すと、最終的な方向性や目標を見失ってしまうことがある。
- 期限や行動の具体性がなく、遅々として物事が進まないこともある。

17

## 計画された偶然性理論 (Planned Happenstance Theory)

- 個人のキャリアの8割は、予想しない偶発的なことによって決定される。偶然を計画的に設計し、自分のキャリアを良いものにしていこうという考え方。

### 「オープンマインド」で「まず行動すること」

- 「私にはこれしかない」「これ以外はやりたくない」という硬直的・閉鎖的な考え方ではなく、「本当は何をやりたいのか」といった重要な決断をあえて遅らせ、いろいろなことに首を突っ込み、自分が持っている無限の可能性を信じ、あれこれやってみる。

18

## 「偶然」を「計画」にするための 5つの心構え

1. 好奇心 (Curiosity)
2. 持続性 (Persistence)
3. 柔軟性 (Flexibility)
4. 楽観性 (Optimism)
5. 冒険心 (Risk Taking)

19

## 本日の内容

1. 卒前・卒後をふり返る  
- 学生時代から今にいたるまで
2. キャリアはどのようにして形成されるか  
- あなたは山登り派？波乗り派？
3. キャリア・アンカー  
- 譲れないものがそこにある
4. わたしの今  
- Take Home Messagesをそえて

20

あなたが  
譲れないものは？

21



## キャリア・アンカー

ある人物が自らのキャリアを選択する際に、**最も大切な（どうしても犠牲にたくない）価値観や欲求**のこと。

周囲が変化しても自己の内面で不動なもの。



23

## キャリア・アンカー診断

- 40の質問項目への回答で診断。

### 【質問例】

- 仕事を通じて、専門技能や職能分野の技能を高度に磨き上げることができるなら、仕事がうまくいきそうだと感じる。
- 家族とともに楽しみにしていることが犠牲になってしまう仕事に異動させられるぐらいなら、その組織をやめた方がましだ。

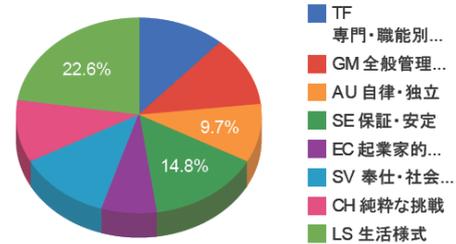
24

## 8つの心の錨

- TF** : Technical/Functional Competence 専門職能別コンピタンス  
- スペシャリスト
- GM** : General Managerial Competence 全般管理コンピタンス  
- マネージャー
- AU** : Autonomy/Independence 自律・独立  
- フリーランス
- SE** : Security/Stability 保障・安定  
- 大企業・公務員
- EC** : Entrepreneurial Creativity 起業家的創造性  
- ベンチャー企業の社長
- SV** : Service/Dedication to a Cause 奉仕・社会貢献  
- ホスピタリティ・ボランティア
- CH** : Pure Challenge 純粋な挑戦  
- チャレンジャー
- LS** : Lifestyle 生活様式  
- ワーク・ライフ・バランス

25

あなたのスコア



26

## 本日の内容

1. 卒前・卒後をふり返る  
- 学生時代から今にいたるまで
2. キャリアはどのようにして形成されるか  
- あなたは山登り派？波乗り派？
3. キャリア・アンカー  
- 譲れないものがそこにある
4. わたしの今  
- Take Home Messagesをそえて

27

## Take Home Messages

- キャリア形成には**静的**と**動的**の2つがある。
- 義務年限内は「**偶然**」を「**計画**」できる心構えが**重要**。
- 自身の内なるイメージ (**キャリア・アンカー**) を**知る**ことがキャリア形成の一助となる。

28

## 第2部 懇談会

### 挨拶

---

針田 哲 卒後指導部長

本日はお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

皆さんご承知の通り、女性医師は増加しており、昔ほど特別な存在ではなくなってきています。仕事と育児の両立についても一般的な問題として取り組まなければならないと考えています。自治医大としても女性の医師、学生が安心して仕事や家庭を築けるようにこ



のような会を行っています。個人的には3つの希望があります。1つ目は女性の皆さんに安心して仕事をして、家庭を作っていただきたい。2つ目はぜひ旦那さんも幸せと感ぜられるようにしていただきたい。3つ目は次世代育成。夫婦仲が悪いと子どもにも影響を及ぼすので、心の安定した子どもを育ててほしいと考えています。

本学の女性医師サポート役として石川鎮清先生、牧野伸子先生、石川由紀子先生、山本さやか先生、以上4名の先生がいらっしゃいます。女性卒業生のみならず、女子学生も相談事が発生した場合には気兼ねなく連絡をいただきたいと思います。

### グループディスカッション

---

10グループに分かれて、30分、20分×2回で時間を区切り、卒業生に各テーブルをローテーションしていただき、卒業生と在学生による情報交換が行われました。主に学生が卒業生に、将来に関する疑問点や不安について質問するフリートーク形式での懇談会となりました。

<懇談会での学生からの質問内容>

- ・結婚相手とタイミング
- ・出会いの場
- ・夫のこと（出会いのきっかけ、同業者との結婚）
- ・出産のタイミング
- ・子どもの行事の際の対応
- ・外科系を選択した際のキャリア



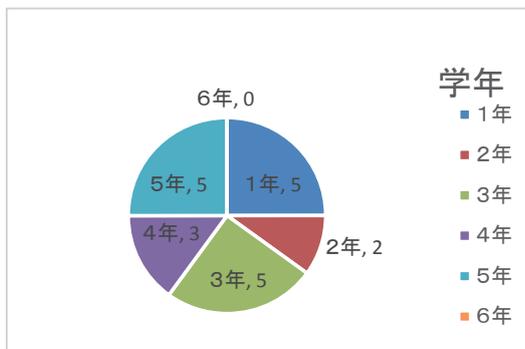
#### 4. アンケート結果報告

当日は、お忙しいところご出席いただきまして、またアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。ここにその結果を報告いたします。

##### 【在学生】

##### I. 学年について

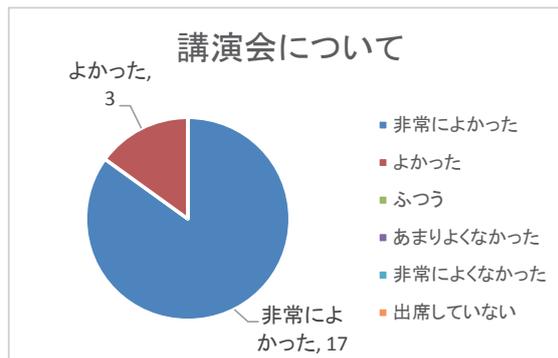
1	1年	5
2	2年	2
3	3年	5
4	4年	3
5	5年	5
6	6年	0
	計	20



##### II. 講演会について

##### (1) 講演会はいかがでしたか

1	非常に良かった	17
2	良かった	3
3	ふつう	0
4	あまりよくなかった	0
5	非常によくなかった	0
6	出席していない	0
	計	20



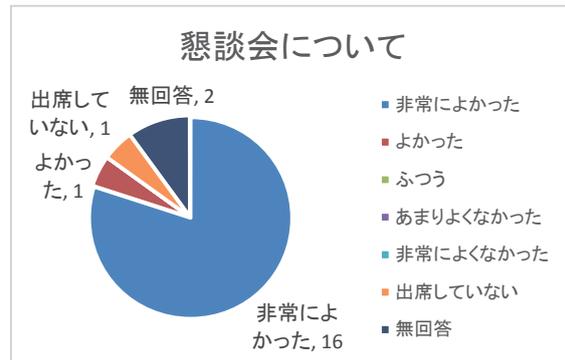
##### (2) その理由を教えてください

- ・ 気になっていた将来のことを考えるきっかけになりました！
- ・ 漠然とした不安を的確に指摘され、先生たちのアドバイスを聞いて少し安心しました。先輩たちの話を聞く機会はあまりないので、秋のワークライフバランスにも参加させていただきます。
- ・ 今まで、女性医師になるからには、結婚し、子どもを持ち育てると子どもが寂しい思いをするし、医師としては学会にも出席できないなどと思っていましたが、どちらの先生も家事も医師としても働いていらっしゃる安心しました。
- ・ 卒後の様々な選び方を教わる事ができた。
- ・ どちらの先生も現実的なアドバイスをくださり、今後のことを考えるのにとっても役立ったからです。
- ・ 疑問に思っていたこと(結婚や出産のベストなタイミングなど)についてお話を聞いて良かったです。また、学生生活中、卒後のやるべきこと、雰囲気がわかった。
- ・ 卒業生の方の講演会だったので親しみを持って聞けました。
- ・ 卒後でのワークライフについて詳細が全く分からなかったもので、産休育児についてや、男性側からの話が聞いて良かった。
- ・ 教えてほしいことをピンポイントで教えてくれたから。
- ・ 自分のキャリアについて考える良いキッカケになりました。
- ・ このような話を聞く機会は本当になかなか無いと思うので。
- ・ 卒後の具体的な話が聞いて、自分の将来を考える参考になった。

### Ⅲ. 懇談会について

#### (1) 懇談会はいかがでしたか

1	非常によかった	16
2	よかった	1
3	ふつう	0
4	あまりよくなかった	0
5	非常によくなかった	0
6	出席していない	1
0	無回答	2
	計	20



#### (2) その理由を教えてください

- ・先輩に貴重な話を聞かせていただきました！
- ・結婚と仕事の兼ね合いについて、いろんな先輩の実際の話赤裸々に聞くことができ、本当にためになりました。
- ・先生方の状況について直接お聞きすることができました。
- ・いろいろと話を聞くことができた。
- ・色々な先輩方から結婚や出会いのお話やアドバイスがいただけるとても良かったです。
- ・女性の先生方のリアルな話が聞けたのでよかったです。
- ・体調不良。申し訳ありません。
- ・直接、先生方の実体験等を個人的に聞くことができずごく良かったです。ちょっとした不安なども聞いて良かったです。
- ・個人的にいろいろなお話を伺えて良かったです。
- ・ローテートしてたくさん先生方と話せたのが良かったです。低学年どうして気が楽でした。
- ・タイミングやキャリアについてのアドバイスなどとてもためになります。普段聞けないことが聞けてよかったです！！
- ・男性の先生のお話も女性のお話も聞いて良かった。
- ・色々な先生と話ができて楽しかった。
- ・色々な先生の話を知る貴重な機会が良かったです。ローテートがとても良かったです。
- ・先生の方が席を回ってくださったので、臆することなく気軽に質問できました。

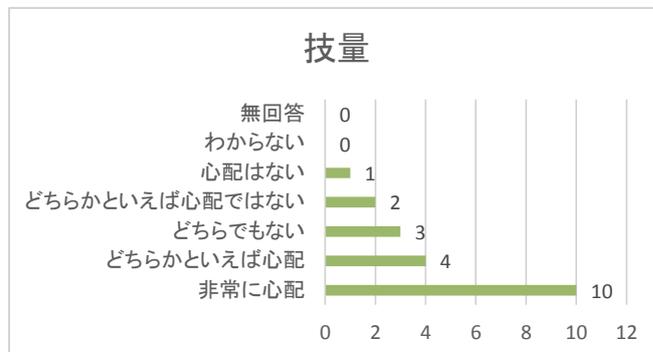
#### IV. 地域医療に従事することへの心配について

将来、自分が義務年限中に地域医療に従事する(診療所等含む)ことに関して心配はありますか

[1非常に心配 2どちらかといえば心配 3どちらでもない 4どちらかといえば心配ではない 5心配はない 6わからない]

##### 問1 医師としての技量が足りないのではないかという心配

1	非常に心配	10
2	どちらかといえば心配	4
3	どちらでもない	3
4	どちらかといえば心配ではない	2
5	心配はない	1
6	わからない	0
0	無回答	0
	計	20



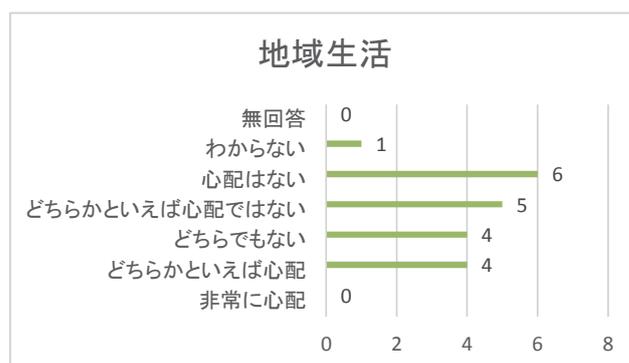
##### 問2 医師としてのキャリアが遅れるのではという心配

1	非常に心配	3
2	どちらかといえば心配	6
3	どちらでもない	2
4	どちらかといえば心配ではない	4
5	心配はない	3
6	わからない	2
0	無回答	0
	計	20



##### 問3 地域での生活になじめないのではないかという心配

1	非常に心配	0
2	どちらかといえば心配	4
3	どちらでもない	4
4	どちらかといえば心配ではない	5
5	心配はない	6
6	わからない	1
0	無回答	0
	計	20



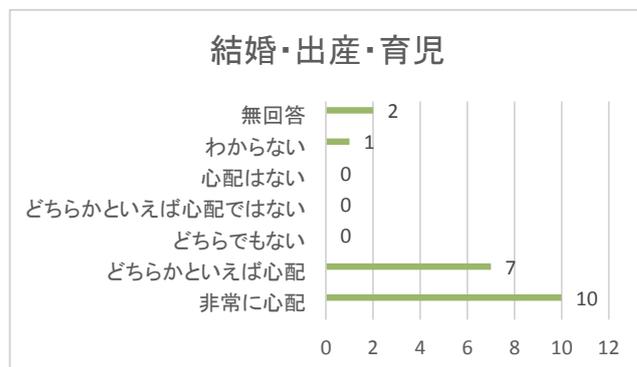
##### 問4 家庭との両立ができないのではないかという心配

1	非常に心配	7
2	どちらかといえば心配	10
3	どちらでもない	1
4	どちらかといえば心配ではない	0
5	心配はない	1
6	わからない	1
0	無回答	0
	計	20



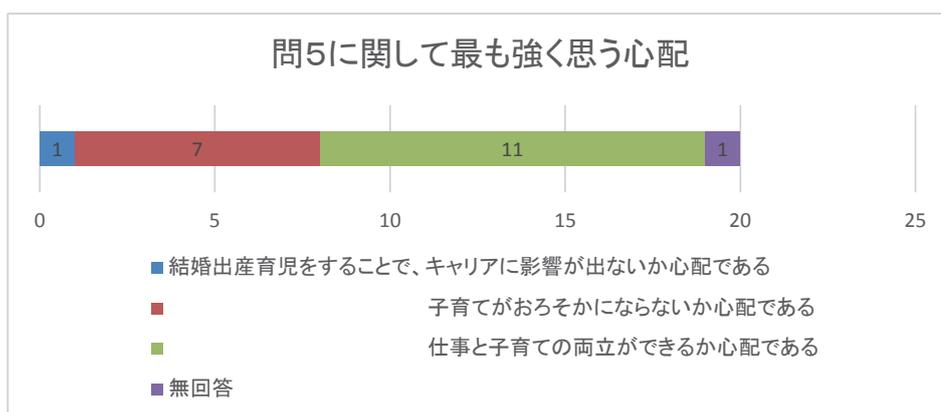
問5 結婚・出産・育児についての心配

1	非常に心配	10
2	どちらかといえば心配	7
3	どちらでもない	0
4	どちらかといえば心配ではない	0
5	心配はない	0
6	わからない	1
0	無回答	2
	計	20



問5に関して

1	結婚出産育児をすることで、キャリアに影響が出ないか心配である	1
2	子育てがおろそかにならないか心配である	7
3	仕事と子育ての両立ができるか心配である	11
0	無回答	1
	計	20



V. その他

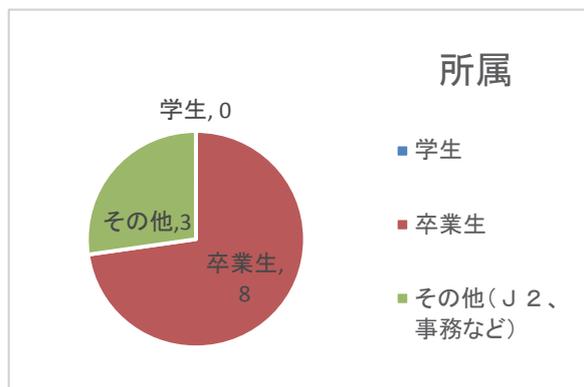
今後取り上げてほしいテーマ・要望、話を聞きたい卒業生がいれば挙げてください

- ・ 医者の子どもは(親と過ごす時間が短めだから)寂しさを感じているか?と聞いていましたが、懇談会でそんなことはないと分かりました。
- ・ 離婚された女性医師のお話。ぜひ聞いてみたいです。
- ・ お子さんがいらっしゃる女性医師の1日を知れるような内容があるとおもしろいと思います。
- ・ 現在義務内で、子育て中の方の話を聞きたい。
- ・ 福岡、今泉悠希先生

## 【卒業生・その他】

### I. 所属について

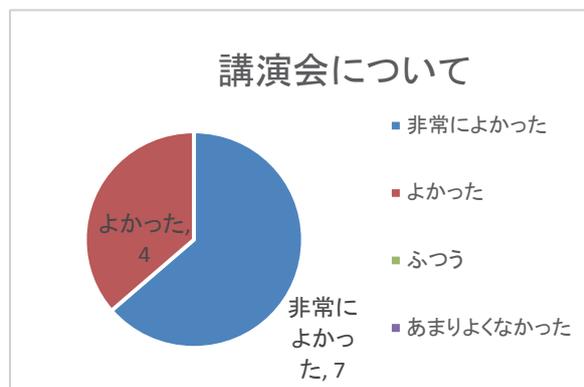
1	学生	0
2	卒業生	8
3	その他(J2、事務など)	3
	計	11



### II. 講演会について

#### (1) 講演会はいかがでしたか

1	非常に良かった	7
2	良かった	4
3	ふつう	0
4	あまりよくなかった	0
5	非常によくなかった	0
6	出席していない	0
	計	11



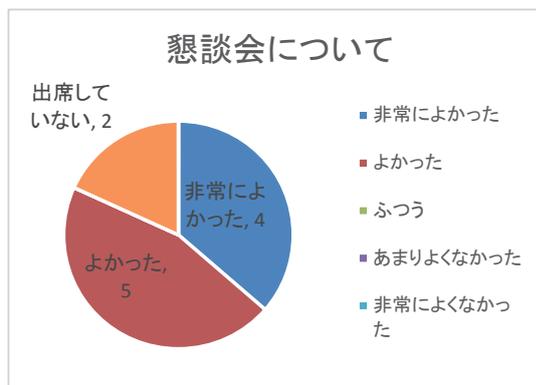
#### (2) その理由を教えてください

- ・ 実際に働いている先輩の話がきけるのは良いですね。
- ・ 女性・男性、お二人のお話が聞けて良かったです。
- ・ 単に女性にとどまらず、学生・医師とも参考になる話であった。
- ・ 他の女性医師のお話を聞けて参考になりました。
- ・ 「キャリア・アンカーを考えると義務年限はいい時期かもしれない」という新発見がありました。
- ・ 漠然としているキャリア形成の考え方について、山本先生の話は具体的で良かったと思います。

### Ⅲ. 懇談会について

#### (1) 懇談会はいかがでしたか

1	非常に良かった	4
2	良かった	5
3	ふつう	0
4	あまりよくなかった	0
5	非常によくなかった	0
6	出席していない	2
0	無回答	0
	計	11



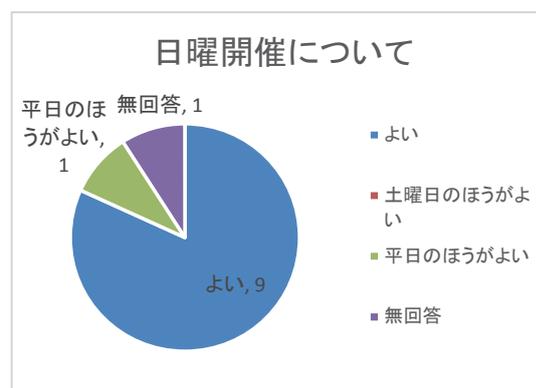
#### (2) その理由を教えてください

- ・ 学生さんが何で悩んでいるのか、生の声が聞けました。
- ・ つまめるお菓子があると素敵だと思います。
- ・ 色々な学生さんとお話することができた。
- ・ 今の女子学生たちの考え方や悩みを直接聞くことができたため。
- ・ 楽しかった。

### Ⅳ. その他

#### (1) 日曜日の開催はいかがでしたか

1	よい	9
2	土曜日のほうがよい	0
3	平日のほうがよい	1
0	無回答	1
	計	11



#### (2) 今後取り上げて欲しいテーマ・要望等がありましたら教えてください

- ・ 育児や結婚のイベントがない場合の女性医師の話は聞いてみたいです。
- ・ 卒業までに学ぶべきスキルとは。

### Ⅴ. 懇談会(フリートーク)での学生からの質問内容について

- ・ 結婚相手をどうやって決めたか。
- ・ 出会いの場は。
- ・ 外科系をするとキャリアが大変か。子育て、結婚の時期、夫のこと。
- ・ 出産の時期、配偶者との出会いのきっかけ、地域勤務についてなど。
- ・ 結婚相手とタイミング。子どもの行事の際の対応。同業者と結婚することについて。

### Ⅲ. 卒後ワークライフバランスについて考える会 2014 in Summer

## 1. 開催概要

- 概要 「卒後ワークライフバランスについて考える会 2014 in Summer」
- 目的 卒業後のライフイベントに関する問題のうち女子学生の関心がある項目に着目し、提供プログラム作成のためのアイデアや女性卒業生のワークライフバランスのための職場環境などについて意見交換を行う。
- 開催日 平成26年8月29日（金）
- 会場 FUKURACIA 東京ステーション 6階会議室C
- 参加者 21名（卒業生9名、関係者12名）
- 主催 卒後指導委員会（地域医療推進課）
- 協力者 石川 鎮清（卒後指導委員会女性医師支援担当）  
牧野 伸子（卒後指導委員会女性医師支援担当）  
石川由紀子（卒後指導委員会女性医師支援担当）  
山本さやか（卒後指導委員会女性医師支援担当）

## 2. 次第

- 日時：平成26年8月29日（金） 11：30～14：00
- 場所：FUKURACIA 東京ステーション 6階会議室C

時間	内容	摘要
11：30	開会挨拶	谷口信行卒後指導委員長
11：35	出席者自己紹介	進行 十枝めぐみ（香川13期）
12：10	ランチョンセッション 自治医大の1年間の活動報告	石川鎮清 石川由紀子 山本さやか
13：00	意見交換 「働きやすい職場について」	牧野伸子
13：50	まとめ	石川鎮清
13：55	閉会挨拶	本間善之卒後指導部長



#### 十枝めぐみ（香川13期 綾川町国保綾上診療所）

キャリアと聞くと肩身の狭い思いをする。これまで20年以上、診療所勤務をしてきて資格はプライマリアケア認定医しか持っていない。自分にはキャリアがないのかと思ってしまう。診療所では症例がかせげないと、若い医師は勤務を希望しない状況がある。認定医、専門医、指導医を取得することがキャリアなのか疑問に思う。

自分としては学校保健のことなど学会発表を行いながら現在の状況に非常にやりがいを持って日々勤務しているし、スタッフは女性ばかりで困ったときはお互い様の気持ちを持っているので働きやすい職場である。

3人の子どもを地域で育てながら一人診療所に勤務していることを患者さんは理解してくれているため、学校行事への参加は欠かしたことはない。また、患者さんは休日具合が悪くなった時は遠くの当番病院を受診してくれる。夜中に亡くなっても朝まで待ってから連絡をくれるなど地域の方々に家族ぐるみで支えられていると思っている。

キャリアの面でどうかと言われると自分はないのかと思ってしまう。子育てが落ち着いたら病院で再研修しないといけないの？と思うが自分としては地域をフィールドにしてやり残したことが多々あると思っている。今は子どものメタボ予防の取組みに力を入れており生活習慣病健診が軌道に乗ってきた。最近転んだときに手がだせない子どもが増えてきているためその予防対策に力を入れていきたいと考えている。

#### 新井由季（栃木25期 那須赤十字病院）

十枝先生がこれまで立派に働かれていることがキャリアだと思う。自分は子どもがまだ小さくこのまま働けるか分からない状況の中、もし他に就職することがあるとすれば資格があったほうが良いと思うところがあり資格は取れるものとはっている。

勤務している病院に育児短時間勤務制度があり産婦人科医1名が取得している。脳神経外科は3名いる内、子持ち女医の1名が当直とオンコールを免除されている。それに比べ内科は全く普通の勤務状況にある。子持ち女医で一番上の自分は実母の手助けと夫が医師でないことから色々手伝ってくれる状況にあるため義務年限中から現在まで通常勤務をしてきた。そのため上司は他の医師も普通の勤務ができると思っている。産休明けの後輩が上司に育児短時間勤務を取得できないか相談に行ったが、権利ばかり主張すると言われ理解が得られず悩んでいた。現在はなんとか当直を月2回にしているが、上司の理解を得るにはどうしたら良いかアドバイスをいただきたい。

#### 濱舘香葉（青森25期 八戸市立市民病院）

救急を選択したのは初期臨床研修が修了する頃に現在の所属長の今明秀先生（青森6期）が青森に戻って来られ一緒に救急をやってくれる後輩はいないかと言われた。自分は将来外科をやりたいと思っていたが、青森県で子育てしながらやるには厳しい環境だと思っていた。義務年限中に地域で様々な疾患を診ていくうちに外科に限らず幅広くやってみたいと思うようになった。

救急で働き始めた4月、子どもが熱を出して入院した時に今先生から「救急は予約外診療であり、いなければいけないなりにやるので家族のために仕事を休んで行きなさい」と言われたことが印象に残っている。当救命救急センターでは主治医はいるが基本的にチーム

制をとっている。時間外は当直の医師が対応している。自分は子どもがいるため時間外も免除していただいております、子どものお迎えの時間に帰宅させてもらっている。上司自ら休みをとることもありスタッフに対しても休みをとりなさいと言ってくれるお蔭で職場全体の雰囲気がとても良い。出産した家族のために1週間休みをとる男性スタッフもいるくらいで男女とも働きやすい職場だと思っている。懐の広い上司にとっても感謝している。

#### 十枝

診療所に赴任する前に役場の方から女医さんが来て途中で休まれたら困ると言われた。県庁の方にも女医さんを診療所に派遣することはしたくなかったと言われたが、実績をあげ地域に溶け込んだら周囲の考え方が変わり産休をとることができた。先程の上司の話聞いて、上司の考えを変えるのは難しいと思ったが何かきっかけがあれば変わることができるのではないかと考えている。自分も来られたら困ると言われた中に飛び込んでいき20年経った。何かきっかけがあればと思う。

夫の勤務する病院にいる県人会の後輩は、通勤に45分かかり小学生になる子どもの習い事の送迎が負担になってきていて職場を変えないといけないかもと悩んでいる。大原昌樹院長先生（9期生）のご配慮で土日の当直免除、平日の当直回数も軽減していただき子育てしながら何とか勤務を継続することができている。保育所の頃に比べると子どもが大きくなってからのほうが送り迎えや行事など負担になるので、通勤時間はできるだけ短いほうが負担軽減になると話されていた。

自分は小中学校とも診療所から近いところだったため通勤が負担ということにはなかった。後輩の話聞いていて子育てしながらの場合は住居と勤務先は近い方が負担軽減になると思う。

#### 白石裕子（島根17期 隠岐島前病院）

現在、内科、小児科、プライマリケアの学会に入会しているが内科学会の講演会に参加した時、1,000人くらい参加者がいる中、託児を利用しているのは自分だけだった。内科の場合、主治医制でないとなんて伝えられない部分が多いと感じていて診療科によってやり易さが異なると思っている。小児科学会は女医さんが多いためか育児を支援する動きがある。

#### 横谷倫世（奈良21期（医）土庫病院）

外科学会も外科医そのものが減少しているため大学が4～5年前からすでに取り組んでいるヒアリングなどをようやく始めたところである。

二人目の子どもを出産し外科医として通常勤務が難しくなってきたと思うようになり他の病院を見学していた時に大学の緩和ケアを見学に来た。その際に女性医師支援担当の石川先生や牧野先生とお話する機会をもらいアドバイスをいただいた。

現在の病院は外科（消化器センター）50床を常勤9人でやっていて結構忙しい。当直は免除していただいているが少しでも役に立てればと思い勤務を継続している。チーム制のため入院患者さんのことは大体把握できている。そのため学会で不在にするときや急な休みの時など他の先生にお願いすることができる。サテライト診療所が2か所あり医師を

コーディネートする事務職員が1名配置されている。休みのことは事務に話をすると調整してくれるため勤務のし易さは感じている。これまで勤務していた病院では夕方のカンファレンスに参加しないと翌日の診療に支障をきたすため参加しなくていいよと言っても帰ることができなかった。十枝先生は長い月日をかけて周囲の人の考え方を換えられたが厳しい直面にいる人は自分でできることを見つけ頑張るのが一番近道だと思う。

### 白石

色々なバリエーションをもった勤務形態を認めてもらうことが大切ではないか。まずは上司に気づいてもらうことが必要。人を変えるのは難しいが何かアクションを起こさないと何も変わらない。上司に訴えた女医さんは相当インパクトがあったと思う。



### 石川由紀子（静岡17期 自治医科大学総合診療部門）

義務年限中に2人出産したが卒業生がいるへき地勤務中のほうが気持ち的に楽だった。卒業生が院長している病院では代診を捜してくれた。高知県から静岡県に来るときお腹に2人目がいたが、病院に挨拶に行った際に育児休業はとらないで欲しいと言われたことを今でも覚えている。赴任後は自分のできることを走り回りながら頑張ったので結果的に1ヶ月だけ育児休業を取らせていただいたと思っている。時間的に制限のある女性医師であっても、どんなことをやっているかきちんと見てもらえる普段からの人間関係作りが大切だと思う。自分が都合で抜けるときは予め事情を説明するなど時には家庭の事情もさらけ出さなければならないことがあるかもしれない。子育ては親などの手助けがない時は病児保育やヘルパーなど社会資源を手厚く使うことがあってもいいと思うので情報収集も大切である。

### 十枝

女子学生には、大変なことは大変と言いましょうと言っている。我慢してどうにもならなくなってしまうより周囲の人に話した方がいいと思うし、頼れる人がいれば頼った方がいいと思う。

主人が勤務している病院の院長は卒業生ということもあり子どもの授業参観には休みがも

らえる。男性医師に限らず世の中全体が休みを取りやすくなると考え方も少しは変わるのではないかと思う。福井県の林寛之先生（9期）が育児休業をとった記事を主人に見せたら3人目の時に1ヶ月とってくれた。声を出すことが大切なときもある。

## 牧野

女性医師は頑張りすぎてしまいがちであるが、個人の努力と工夫に加え、所属長の考え方の変化も必要だと思う。所属長を変えるには個人より社会のほうが早い。

大阪厚生年金病院は全国に先駆けて女性医師が働きやすい職場環境作りに取り組んでいるため女性医師が集まってきて勤務医不足が改善されている。そうした社会の流れが上に立つ人の考え方を変えるのではと思う。

キャリアに関しては現状では育児の部分がキャリアに入っていないと思う。キャリア＝資格と考えがちでその概念を広く変える必要があると思っている。背景に日本の文化があるため難しいのが現状である。男性が育児休業を取得するとその結果としてキャリアの一つと捉える傾向があるが女性はそうはいかない。育児をしてきた自分を評価してくれる際の上司の表現は、「育児をしてきたからこそプラスになることがある。頑張りましょう。」「育児をしてきて遅れているから頑張りましょう」どちらも方向性を示してくれる言葉であるが印象が全く異なると思う。育児をすることでプラス面とマイナス面があるが社会がプラス面に目を向けてくれると有難い。

勤務形態はバリエーションのある形態を認めてもらうことが必要だと思う。勤務時間が短いからといって自宅に帰り遊んでいるわけではなく、職場でも自宅でも全力で仕事をしていることには違いがない。

学生には個人の努力で頑張らないといけない部分と社会への働きかけの両方があることを教えることも大切ではないかと思う。ご意見がありましたらお願いします。

## 氏家士富子（茨城30期 茨城県保健福祉部医療対策課）

今までは、家を顧みず病院一筋に働く医師がかっこよく医師のあるべき姿だと思われていることが多かったと思う。これからは、ワークライフバランスのとれた医師が魅力的で「イケてる」と思われるようになるのではないかと若い研修医の方々と接していて感じる。キャリアの中に子育ては入ってくると思う。

自分が妊娠したことがわかり、これからご迷惑をおかけしてしまうなあと思いつつ所属する職場の先輩に報告した時に、すぐに「おめでとう。今月当直いつだっけ？代わるよ。」と笑顔で言ってくれた。その一言をいただいたことにとっても感謝していて、現在までなにかある度にご相談させていただく関係が続いている。

この会議で先輩方からいただいたコメントは困っている同級生や後輩にフィードバックしたいと思うし、今日の内容がインターネットで見ることができればありがたい。

これまでは給与などの処遇面をみて医師が集まってきた部分があるが、今後はワークライフバランスのとれた病院や診療科に集まるようになると思う。「育児短時間勤務や育児休業をとらせてあげたほうが病院のためにもなるから」と所属長の先生方が考えられるくらいの状況になるといいと思う。

#### 渡邊ありさ（埼玉24期 鳥取大学医学部）

自治医大卒業生は義務年限の関係で産休に入るタイミングで復帰時期を決めていることが多いと思う。自分も現場を離れるときに戻るタイミングはこの時期と決めていて戻れる職場があることがとても有難かった。

義務が明けてからは自分で職場を選ぶだけに勤務形態などが関係してくると思う。鳥取大学にはワークライフバランス支援センターが発足し時短勤務や復職支援プログラムが用意されている。以前、数年のブランクがある女医さんが復職支援プログラムを経て復帰した話を聞く機会があった。それまで自分の周りには、育休などで1年程度のブランクがある人は何人かいたが、完全に一度現場を離れてから復帰した話を聞くのは初めてだった。技量のことは勿論、周囲との人間関係に不安があり相当悩んだということを知った。

昨年もこの会に参加させていただいた。一般的に女性医師のワークライフバランスというと、どのようにして仕事の負担を軽減して家庭と両立させるかの話題になるが、この会では仕事を続けるのが前提でどのように支えていくかという話題が中心だったのが印象的であった。

同僚や部下が妊娠すると自分の負担がふえるので、職場では歓迎されない雰囲気になることもある。妊娠した本人は居心地が悪く申し訳ないという気持ちにならざるを得ないこともある。子育てをしながらでも働きやすい環境作りは大変だと思うが、働きやすさが評判になり人が集まれば結果として自分達も助かることになるという考えをもっていたられば有難いと思った。

#### 白石

4人出産して育児休業はトータル1年程度しか取得していないが同級生から遅れる部分が出てきて同級生同士の結婚は大変だと思う。女医の場合、人より劣っていると思うことがネックになりきちんと仕事ができないのであれば辞めてしまいたい気持ちになりがちである。少しでも助けてもらえればそれだけですごく助かるとメッセージを発信できたらと思っている。

自分の上司はずっと夫なので厳しいときもあれば優しいときもあるが、上司からもプラスのメッセージをもらえると働き易くなる部分もあると思う。

#### 十枝

職場に出張報告書を提出することで他の様子を少しでも知ってもらうことができる。自分もそうして今の診療所を改善してきた。

#### 山本さやか（宮城25期 自治医科大学臨床検査医学）

地域勤務中は3病院で4人の院長先生の下で働いた。一人目の院長は卒後4年目の時で1年間の育児休業を申し出たところ了解していただいた。育児休業中に院長が代わり復帰後はハードな勤務をしながら子育てを半年続けた。次の勤務先の上司には比較的理解をいただき2年間の勤務を行い、次に異動した先は夫の実家が近く子どもと二人で居候した。子どもは祖父母に見てもらえたので自由が利きかなりの回数の当直をこなしていた。その後二人目の子どもを妊娠したため所属長に産休を申し出たところ抜けられると困ると言わ

れたが、院長が県に医師の増員を要求し認められた。増員は復帰後も継続され現在も複数配置になっており、産休・育休取得の実績を作ったという意味で後輩のために良いことができたと思っている。復帰後は時間外拘束がかなり多かったところを当直は免除していただき精神的にかなり楽になった。

自分としての働きやすい職場は、所属している職場とその地域とが両立して発展していくことが社会に向けたキャリア形成ではないかと思っている。その中で個人のキャリア形成は現在のライフイベントと職業人としての両立をどのようにしていくか今後も考えていきたいと思う。

## 氏家

大学で開催しているワークライフバランスの会は会場の都合で現在のところ女子学生だけに声をかけていると説明をいただいたが、職場で男性医師のサポートは欠かせない状況にある。学生のうちからワークライフバランスについて考えることが将来自分達のパートナー・サポーターを増やすことにつながると思うのでぜひ声掛けをしていただければありがたい。



## 【まとめ】

### 石川鎮清（福岡12期 自治医科大学医学教育センター）

今回の卒後ワークライフバランスについて考える会 in Summer では、お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。集まった女性医師の先生方は様々な困難の中で、またそれを乗り越えてとても頼もしく感じた。1年間を振り返り、学内での活動、学外への訪問調査などの報告があったが、中でも昨年10月に訪問した島根県では複数の女性医師と懇談ができたことは私にとっても大きな転換であったように思う。同じ県内にいても子育てをしているとなかなか会えず、情報の共有がうまくいかないことなどが改めてわかり、今後もこのような訪問を積極的に行っていく必要があると感じた。

また、学生アンケートでは低学年から不安に思うこともわかり、卒業生に限らず、学生のうちからお互いに顔の見える関係の中で情報交換できる環境が重要であると改めて感じた。女性を活用しようという社会の流れの中で、出産や子育ては貴重な経験としてプラスにしていく社会になっていただきたいし、そのようになっていくものと信じている。

女性卒業生と一緒にお互いできることを少しずつやっていくことが重要と思うので、今後ともよろしくお願ひします。

## 【閉会挨拶】

本間善之（卒後指導部長）

ワークライフバランスについて非常に活発な意見と討議が交わされ、その内容について納得できる部分が多かった。これまでの私自身の臨床医と公衆衛生行政医師として、医療機関や保健所という女性主体の職場を経験して思ったことは、これらの職場は女性の存在なしには成り立たない職場なので、女性の結婚、妊娠、出産、子育てを踏まえた、24 時間保育所の設置など実際に効果のある取り組みがなければ、職員の確保が困難であると考え

る。  
国立病院療養所の出先機関である地方医務局の医療課長在籍時には、女性の多いパラメディカルスタッフの異動については、女性の妊娠、出産、子育てにできる限り配慮した人事を行ったところである。

一方では成果主義による人事考課や給与配分も多く企業の企業で取り入れられ、仕事か子育ての二者択一を迫られる場面も多く見受けられるが、女性医師の多い小児科学会等では託児所を設置している等の事例が見られ、今後の女性医師の増加により、他の学会でも同様な取り組みが実践されると考えている。

本学は義務年限内の人事異動のため、女性卒業医師に対するワークライフバランスについてのノウハウが蓄積されているので、このノウハウを他大学のモデルとして活用することが期待される。

## 【参加された卒業生からのコメント】

定金敦子（福岡 2 2 期 （財）放射線影響研究所）

私は義務年限終了後は臨床を離れ、研究に従事している。現在の職場は日米共同の研究機関ということもあってか、勤務時間（8 時 30 分 - 17 時）以外の時間は個人の時間として尊重されている。会議、講演会、部内のセミナー等は全て 17 時までには終了するように設定されている。育児中の職員に対する支援として、労働基準法や育児・介護休業法などの法律の規定以上のものは存在しないが、勤務時間が明確に決まっているため、不足を感じることは少ない。

研究所内の雰囲気としては、例えば職員が自分や子供の病気などで休暇を取った場合、心配したり気遣いをしたりする言葉をかけられることはあっても、干渉されたり責められたりすることはない。これは、各自が自分のペースで仕事を進められる環境に置かれていること、緊急性のある業務は少ないことにより成り立っていることかもしれない。

個人的には、国内・国外の研究者との共同研究が増える中、出張が避けられないことが悩みの種である。現在は、私の出張中は夫や遠方に住んでいる私の両親が子供を見ているが、綱渡りの状況であり、今後も同じように出張できるのかが気がかりである。

今回の意見交換会に参加して、自らの経験や観察に基づいた意見を持ち、それをわかりやすく説明できる自治医大女性卒業生の素晴らしさを実感した。女性卒業生が就業を継続するということにとどまらずに、リーダーとして組織を引っ張っていく存在になってゆくことで、だれもが働きやすい職場が増えてくると確信した。

影向一美（新潟24期 新潟県立新発田病院）

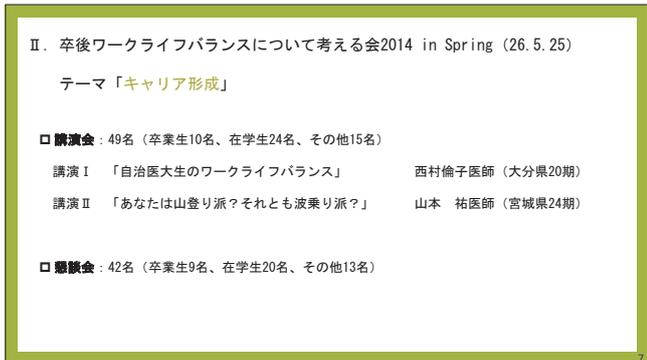
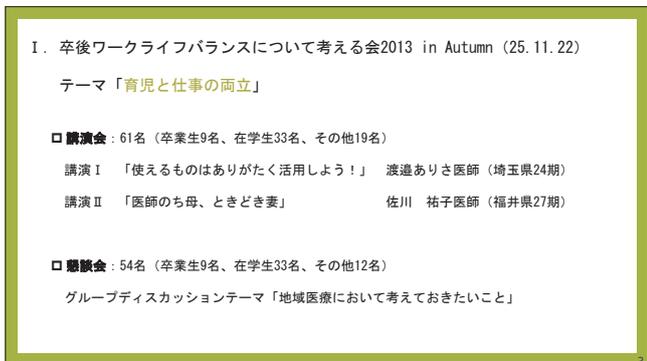
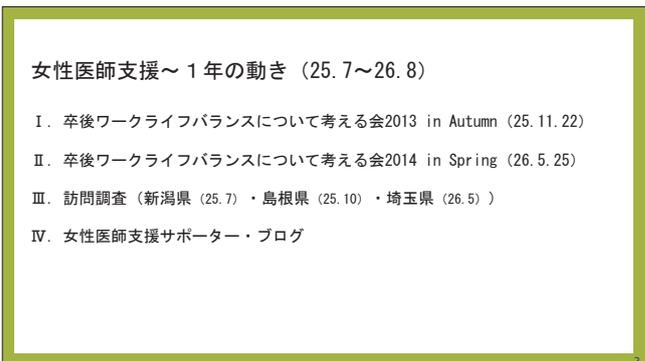
先日の会議では、参加者の先生方の意見に大変感銘を受け、活発な討議に、各職場でもこれほど腹を割って話ができればとても働きやすい職場であろうと思った。

自分の経験や現在の職場の環境を踏まえ、働きやすい職場ということを改めて考えると、他の先生方の意見の繰り返しになるが、「発信」と「コミュニケーション」がキーワードになっていたように思う。

まず「発信」は、独りで抱え込み、頑張りすぎてしまうのではなく、意識的に「自分はこうしたい、こう考えている」ということを発信して上司や同僚に伝えていくことが大切だと思う。女性医師に限らず勤務の多様化する今日、義務年限というルールと、自身の希望、職場の現状を踏まえた調整が必要だと思う。

ただ一方的な発信とならないよう、「コミュニケーション」が大切だと考える。短時間勤務だと、なかなかカンファレンスや検討会にも出られないこともあるが、積極的にチームの一員として参加し、一緒に食事をしたり時間を共有し意思疎通を図ることが出来れば、真剣な話のときも切り出しやすいような気がする。







### Ⅲ. 訪問調査

□ 訪問の趣旨

地域での勤務において

両立...?

勤務との両立に悩むケースが増加している

地域において勤務と育児とを両立している女性卒業生を訪問し、**両立についての現状把握と両立のための要素を**浮き彫りにする

↓

学生や女性卒業生へフィードバック

### Ⅲ. 訪問調査①

◆新潟県立柿崎病院 (25. 7. 5)

《調査に協力いただいた卒業生》

木島 朋子先生（新潟県31期）

- ・夫は看護師（県立中央病院勤務）
- ・短時間勤務を取得しての勤務と育児について伺った

### Ⅲ. 訪問調査②～女性卒業生の集まり

◆島根県女性卒業生 (25. 10. 5)

《調査に協力いただいた卒業生》

白石 裕子先生（17期）  
塚本 織恵先生（22期）  
黒木 美穂先生（33期）  
門脇あゆみ先生（34期）  
内田 優子先生（34期）

### Ⅲ. 訪問調査③

◆さいたま医療センター (26. 5. 29)

《調査に協力いただいた卒業生》

川村 留美先生（徳島県28期）

- ・卒業4年目から福井県と結婚協定締結
- ・現在はさいたま医療センター呼吸器科で後期研修
- ・福井県と徳島県、それぞれの場所での勤務と子育てについて話していただいた

→26年秋・ワークライフバランスの会 (26. 11. 20) で講演予定

### Ⅳ. 女性医師支援サポーター・ブログ

□ 女性医師支援サポーター制度

- ・現在6名（学内者含む）
- ・相談実績 1件

□ 女性医師支援ブログ

- ・昨年9月開設
- ・内容  
ワークライフバランス告知  
サポーター近況報告記事 等

#### 4. 参加者名簿

##### 【女性卒業生】

No.	氏名（旧姓）	ブロック	出身	卒業
1	濱舘香葉（伊藤）	北海道・東北（北）	青森	25
2	氏家士富子（鯉淵）	東北（南）・関東（北）	茨城	30
3	新井由季（松倉）	東北（南）・関東（北）	栃木	25
4	渡邊ありさ（宮浦）	関東（南）	埼玉	24
5	影向一美（大嶋）	中部（北）	新潟	24
6	横谷倫世（八幡）	近畿・関西	奈良	21
7	白石裕子（吾郷）	中国	島根	17
8	十枝めぐみ（松本）	四国	香川	13
9	定金敦子（轟木）	九州（北）	福岡	22

##### 【大学関係者】

No.	氏名	所属	出身	卒業
1	山崎 一樹	事務局長		
2	谷口 信行	卒後指導委員長	鳥取	4
3	本間 善之	卒後指導部長		
4	石川 鎮清	卒後指導副部長	福岡	12
5	牧野 伸子	女性医師支援担当	大阪	10
6	石川由紀子	女性医師支援担当	静岡	17
7	山本さやか	女性医師支援担当	宮城	25
8	久保田知之	地域医療推進課		
9	熊倉 盛男	地域医療推進課		
10	坂本 敦徳	地域医療推進課		
11	河原奈麻美	地域医療推進課		
12	雲井 悠里	地域医療推進課		

#### IV. 卒後ワークライフバランスについて考える会 2014 in Autumn

## 1. 開催概要

- 概要 「卒後ワークライフバランスについて考える会 2014 in Autumn」  
第1部：卒業生による講演  
第2部：懇談会
- 目的 女子学生の増加に伴い、卒業後の義務年限の履行と結婚・出産・育児との両立が今後の課題となることが避けられない状況の下、女子学生に在学中からキャリアの面について卒後のワークライフバランスをイメージしてもらう機会を設けるとともに、より多くの女性卒業生と顔見知りになってもらう。
- 開催日 平成26年11月20日（木）
- 会場 第1部：医学教育研究棟1階大教室2  
第2部：医学教育研究棟1階大教室2・休憩スペース
- 参加者 第1部：46名（卒業生6名、在学生21名、その他7名、関係者12名）  
第2部：32名（卒業生5名、在学生15名、関係者12名、）
- 主催 卒後指導委員会（地域医療推進課）
- 協力者 石川 鎮清（卒後指導委員会女性医師支援担当）  
牧野 伸子（卒後指導委員会女性医師支援担当）  
石川由紀子（卒後指導委員会女性医師支援担当）  
山本さやか（卒後指導委員会女性医師支援担当）

## 2. 次第

### 第1部・講演会

日 時：平成26年11月20日（木）17：30～18：20

場 所：医学部・教育研究棟1階 大教室2

テ ー マ：育児と仕事の両立について

司会進行：久保田知之地域医療推進課長

時間	内容	摘要
17：30	開会挨拶	谷口信行卒後指導委員長
17：35	講演 「今日は病院休みます。」	川村留美医師 徳島県28期卒業 自治医科大学附属 さいたま医療センター
18：05	質疑応答	
18：15	休暇等に係る義務年限の取扱いについて	地域医療推進課

### 第2部・懇談会

日 時：平成26年11月20日（木）18：30～19：50

場 所：医学部・教育研究棟1階 大教室2・休憩スペース

司会進行：石川鎮清卒後指導副部長（女性医師支援担当）

時間	内容	摘要
18：30	開会挨拶 女性医師支援担当教員紹介	本間 善之卒後指導部長
18：35	学生グループワーク	
18：55	卒業生との質疑応答	
19：05	情報交換	
19：40	アンケート記入	

### 3. 開催内容

#### 第1部 講演会

##### 開会挨拶

---

谷口 信行 卒後指導委員長（臨床検査医学 教授）

学生、卒業生の皆様、お忙しいところご参加いただきありがとうございます。

全国的にワークライフバランスを支援する動きが見られます。本学の卒後指導委員会では、女性医師を支援することを目的にこの活動を始めましたが、現在は、男性医師を含めたサポートを考えており、卒業生が卒業した後、地域医療を遂行できるようにサポートしています。その中のひとつとして重要なのがワークライフバランスであり、今後の大きな課題と考えています。学生さんは卒業後、どのように勤務するのかなど不安に思うことがあると思います。今日は卒業生のお話を伺って少しでも知っていただければと思います。

本学女性卒業生が少しだけ違う点は、他県出身の卒業生と結婚した場合に出身県と相手方県の両方で勤務する可能性が高くなります。この時は当該県での話し合いが必要になりますので、相談するタイミングや手法などについても学んでいただきたいと思います。

現在の女子学生は197名で全体の約27%を占めています。大学は女性医師支援の重要性を認識していますので今後ともよろしくお願いします。



##### 講演会

---

講師 川村 留美医師 タイトル「今日は病院休みます。」



<参加した学生より>

- ・卒業後の具体的なお話が聞けて、自分の将来を考える参考になりました。
- ・漠然とした不安がありましたが、先生方のアドバイスを聞いて安心しました。



きょうは病院休みます。  
～仕事と子育て～



1



とは、いかない  
女医生活

み  
ま  
す。

2

自己紹介

徳島県卒、28期  
いつのまにか34歳  
5年生のときから付き合ったひと(1つ年下)と  
結婚して今に至ります。

3

お付き合い～結婚まで 編

4

付き合うなら肉食系か草食系か



おれた  
ぼくでよけ  
!?

私の場合は3年目で



6

4年目からは雪国へ



5年目に  
第1子を授かりました。

7

7年目からは徳島へ



次男が生まれました

8

## 自治医大生が結婚するなら ここに覚悟だ

- 超・近距離恋愛から始まるが遠距離婚多し
- 相手の県人会のことが全然わからない
- 患者さんに言葉が通じない
- 患者さんの主訴がききとれない
- 親が遠い
- 引っ越しが多い(計6回/10年)

9

## 妊娠・出産 編

10

## 初めての妊娠は わからないことだらけ

- いつ、だれから報告すればいいの？
- 今までのように働けるのかな？
- 職場にどのくらい迷惑がかかってしまうの？
- いつ妊婦健診に行くの？
- 里帰りする？
- 出産でどのくらい痛いのかしら…  
などなど...



## こんなこと、ありました

- 悪阻まっただ中に新型インフルエンザが大流行
- 外来をぬけだし嘔吐
- 妊娠8か月で検死
- 産休直前に患者さんから  
「え、太ってるだけじゃ...」

12

## 何はともあれ無事出産



## 子どもを産んでわかった！

- 始まったら止まらない
- 眠れない
- 仕事に時間制限がある
- 自分の時間はほぼない
- 夫→父 への変化  
は意外と時間がかかる
- 秒単位で汚くなる
- おむつまで記名



## 復帰までに準備を！ 2人目は学習しましたよ～

- 予防接種スケジュールは早めに
- ミルク拒否対策
- おっぱいケア
- 臨床メモの復習
- 断捨離
- 着地技術
- お名前はんこ



15

## 育児 編

16

## 子育て中 勤務体制

	29~30歳	31歳	32~33歳	34歳	
第1子	妊娠出産	生後6か月	1歳	2~3歳	4歳
第2子				妊娠出産	6か月
勤務先	3人体制 診療所	3人体制 診療所に プラスして	公立病院 450床	町立病院 40床	附属病院 600床
時間	8時 ~18時	8時 ~16時	8時 ~18時	8時半 ~18時	8時 ~18時
当直	3日に1回	免除	免除	年度末まで 週1回	免除
産休 育休	前6後8 産後6か月		前8後8 産後6か月		
通常保育		夫の 院内保育	妻の 院内保育	公立保育園	認可保育園
耐熱性		○	○	◎	△
病児		妻の病児	夫の病児	近所のひと	私立病児

## 義務年限と子育て

産前6週、産後8週 →義務カウント  
 育児休業 →義務延長  
 育児時間 →義務カウント  
 短時間勤務 →義務延長

「やめるか」「つづけるか」ではなく、  
 「続けるためにどうするか」

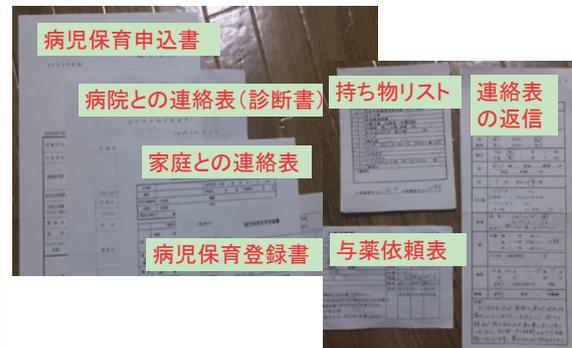
## やっぱり困るのは病気のとき

37.6度以上でコール  
 病児保育→小児科診察必要、診断有効3日間  
 最近1か月で使った病児保育 5回

### 【コスト】

- 病児保育利用料 2000円/日 ±診断書料
- ベビーシッターA社
- 入会金5万円、年会費(ひとりあたり)1万円
- 9-17時(8時間)利用したとして17600円
- 緊急サポートセンター 1000円/時

## 病児関連



## へき地

- 人と人のつながり
- 保育園はいつでもどうぞ
- 車が必須

最寄のコンビニ  
 →車で40分  
 産科まで→70分

[Amazon.co.jp](http://Amazon.co.jp) | 通販 - ファッション、家電から食品まで【通常 ...  
[www.amazon.co.jp/](http://www.amazon.co.jp/)  
[生協宅配なら-coop-takuhai.jp](http://生協宅配なら-coop-takuhai.jp)



## 都会

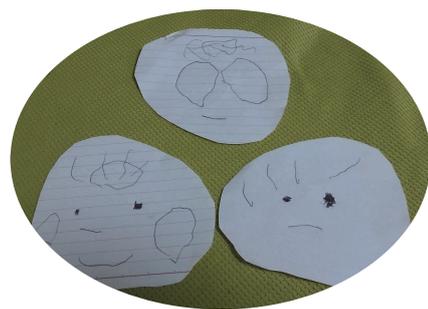
- 行政HPが充実
- 保活が必要
- 慣らし保育が長い
- 園児が多く病気しやすい
- 習い事が近い  
(行ってないけど)



## リアルな日常



## こころにゆとりを



## 役立ちました

- 事前の相談
- 洗濯乾燥機
- 厚手の鍋、キッチンばさみ
- テプラ
- 車においてある病児用セット
- CookPad



## 気になります

- 食洗機
- ルンバ



## そしてこれから 編

26

## 今、悩んでいること

- なぜおむつを脱いでおねしょするのか
- 小学生になったらどうなる(小1の壁)
- 親はいつまで元気でいてくれる
- 将来はどこに?
- 医師としての将来像は?



先がみえない……

27

## 女医を支える一言

おめでとう！  
ありがとう！  
早く帰っておあげなさい  
あとはおれがやるから！  
大丈夫？行くからね  
ママもがんばってるんだよ  
ママ寝てて  
久しぶり！どうよ？！



28

## 仕事と子育ての両立

理解

協力

感謝

29



ほくとかぞく

御清聴ありがとうございました

30

## 第2部 懇談会

### 挨拶

---

本間 善之 卒後指導部長

本日はお集まりいただきまして誠にありがとうございます。  
います。

本学卒業生は結婚協定の問題や義務年限中の結婚・妊娠・出産などのライフイベントとの関係も考える必要があります。ここにいる学生さんは具体的なイメージをすることが難しいと思いますので、先程の講演やグループワークなどから少しずつ考えていただければと思います。



### 学生グループワーク

---

男女交えた3グループを作り、各グループで卒業生に聞きたいことをテーマ別にあげ15分間で質問を練り、学生から指名された卒業生にお答えいただきました。

代表で質問をしてくれたのは3グループとも男子学生で、家庭内において夫に最も望むことや育児との両立に望ましい勤務形態について、結婚協定を結んだ際のキャリアアップなどについて、学生が普段不安に思っていることや、講演会を聞いて疑問に思ったことなど積極的に質問がありました。



<参加した学生より>

- ・今回初めて参加させていただいた。男子学生が多く参加していて嬉しかったです。
- ・先生が実際に経験されたことを詳しく教えてくださり自分の将来について具体的に考えることができました。
- ・医師は大変だけどやりがいがあると伺い働くことが楽しみになりました。
- ・この会は普段聞けない話を聞くことができるのでとても参考になります。
- ・産休をとるときの状況にならないと分からないと感じているが、県庁の方など協力して下さる方々がいると伺い心強く思いました。
- ・一般的には勤務している病院で産休や育児についてどうしようかと考えますが、自治医大の特色は一緒に働く仲間や先輩が学生時代から一緒にいるということだと思います。困ったときに相談できるような関係を作るために男女が共に学び、意見交換することが大切だと思います。



## 情報交換会

---

グループワーク終了後、場所を教育研究棟1階休憩スペースに移して、女性卒業生と医学部学生の懇談会（情報交換会）を開催しました。

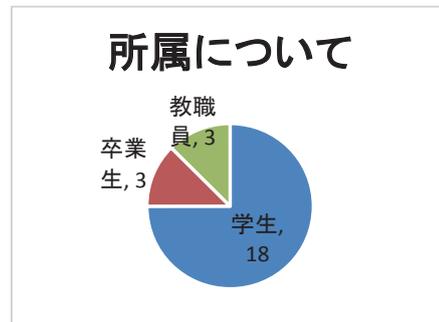
卒業生同士や、卒業生と在学生とで話に花が咲き、和やかな雰囲気の中、会は行われました。



#### 4. アンケート結果報告

当日は、お忙しいところご出席いただきまして、また、アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。ここにその結果を報告いたします。

	講演会参加者	懇談会参加者
学生	21	15
卒業生	6	5
教職員	7	0
計	34	20



##### I. 所属について

学生	18
卒業生	3
教職員	3
計	24

(アンケート回収率71%)

##### 学年別内訳

6年	1
5年	5
4年	6
3年	1
2年	5
1年	0
計	18

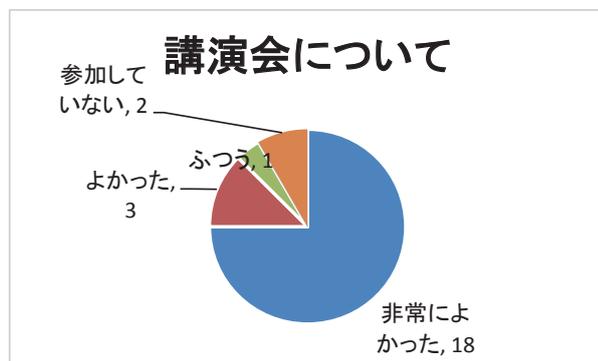
##### 学生男女比

男	5
女	13
計	18

##### II. 講演会について

###### (1) 講演会はいかがでしたか

非常に良かった	18
よかった	3
ふつう	1
あまりよくなかった	0
非常によくなかった	0
参加していない	2
計	24



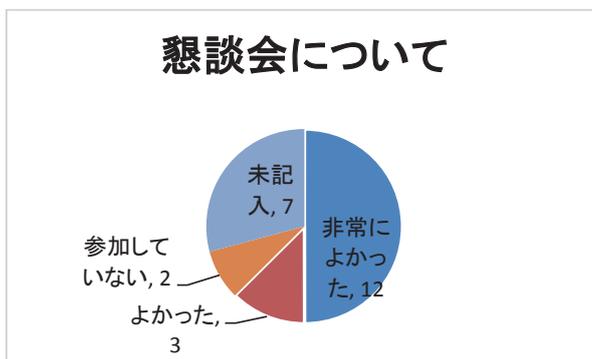
###### (2) その理由を教えてください

- ・リアルな子育て像を教えていただいたから。結婚時に覚悟すべきことを教えていただいたから
- ・詳しく伺いたいことをゆっくり聞かせて頂いたり、自分の不安も相談させて頂きました
- ・母親が専業主婦なので、子育てと共立しているお母さん像をイメージすることができたから
- ・自治の先生のお話を聞いたから
- ・普段聞けないので…
- ・男性が女性の働き方を考えることを通じて、自分の働き方を考えるきっかけになると思うから
- ・今まで男性の参加はなかったが、普段できない話ができ、非常に勉強になった
- ・卒業生の本音を交えたお話を聞くことができたこと
- ・リアルな話をお聞きする貴重な機会でした
- ・忙しくて大変だけど、充実している感が伝わってきたから
- ・話がおもしろかった
- ・わかりやすくテンポがよかった。見ていて飽きなかった
- ・卒後どんな風な働き方になるのか、出産・育児は現実問題として可能なのか気になっていたので、とてもすっきりしました
- ・すごく具体的で将来をイメージしやすかった。将来をイメージしやすくなったので少し不安がなくなった
- ・先輩医師の経験談話は学生に非常に参考になる。多くの学生に参加させたい
- ・自分が自治同士の結婚(を想定している)だったらもっと…、ですが外部との将来を想定しているのであてはまらないところもありましたが、やっぱり経験されている分、自分としても心構えが必要などころがわかってよかったです(育児・出産など)
- ・とても現実合ったわかりやすいご講演でした。楽しく聴かせていただくことができました

### Ⅲ. 懇談会について

#### (1) 懇談会はいかがでしたか

非常に良かった	12
よかった	3
ふつう	0
あまりよくなかった	0
非常によくなかった	0
参加していない	2
未記入	7
計	24



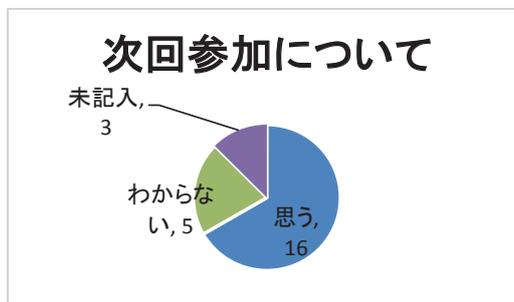
#### (2) その理由を教えてください

- ・1人1人先生方が詳しく丁寧に答えてくださったから
- ・普段話すことのない先生方や先輩、後輩と話すことができたから
- ・先生方と直接お話してきたため
- ・将来知っておくべきことを知ることができたから
- ・もう少し長ければ…
- ・ごはんがおいしい！
- ・質疑もですが、ディスカッションの時間がもう少し長くても良いかと感じました。各チームに女性の先生が入って議論する形式
- ・料理が美味しく、話もできた。欲を言えば、もう少し時間がゆっくりあった方がよかった
- ・聞きたいことをたくさん聞けた。もっと長い時間がほしい
- ・参加予定で出席できなかった学生が多く、残念でした

### Ⅳ. その他

#### (1) 次回(春)参加したいと思いますか: 春のテーマ「キャリアについて」

思う	16
思わない	0
わからない	5
未記入	3
計	24



#### 「わからない」を選んだ理由

- ・実習やテスト関係がまだわからない

#### (2) ぜひ話を聞いてみたい！という卒業生がいれば教えてください

- ・男性の方で育休を取った先生(林先生とか)
- ・医師・医療関係職以外の職を持つご主人をお持ちの先生

#### (3) 今後取り上げてほしいテーマ・要望等ありましたら教えてください

- ・学業(研究)と診療と育児の両立
- ・今回は女医さんの子育ての辛さは良く分かったのですが、対策がいまいちわからず、将来の不安が大きくなったので子育てを乗り切るにはどうすれば良いか、成功例を聞きたいです
- ・要望ではないですが、もっと男性も参加したら良いのと思います
- ・1年生や2年生の実習のある学年が参加しやすいようにしてもらえるといい
- ・男性医師に自身の子育てについて語っていただきたいです
- ・女医として他の職種の人と結婚した人の話をお聞きしたい

